

令和6年度岩国市青少年海外派遣事業概要

目的：青少年の国際理解を促進し、次代を担う人材を育成する

派遣期間：令和6年7月26日(金)～8月11日(日) 17日間

派遣先：アメリカ合衆国ワシントン州エベレット市（姉妹都市）

研修機関：エベレットコミュニティカレッジ Everett Community College

被派遣者：市内在住の高校生13名 ならびに引率者2名

応募資格：

- (1) 岩国市民で高等学校または高等専門学校第1・2・3学年に在学すること
- (2) 健康状態が良好で、旅行及び長期滞在に耐えられること
- (3) 海外において協調性をもって家庭生活及び研修活動ができること
- (4) 海外派遣の体験をいかし、帰国後も地域や学校で積極的に国際交流活動を行えること
- (5) 保護者の承諾がえられること
- (6) 学校長の承諾がえられること
- (7) 事前・事後研修に出席できること

※但し、過去に岩国市主催の青少年海外派遣事業に参加した人を除く

選考決定：面接及び一定の審査

個人負担：個人負担金(300,000円)のほか旅券申請経費、海外旅行傷害保険料等

研修内容：英語研修、官公庁訪問や現地青少年との交流、ホームステイなど

事前研修

- | | | | |
|-----|----------|--------------|--------|
| 第1回 | 6月1日(土) | 事業概要と各種書類の説明 | ※保護者同伴 |
| 第2回 | 6月14日(金) | 英語研修および事前学習 | |
| 第3回 | 6月28日(金) | | |
| 第4回 | 7月12日(金) | | |

英会話講師 Ms. Shanettey Saiki

ホストファミリーとの会話を想定した英会話の練習や、アメリカの文化、現地訪問先などの基礎知識を学びました。



報告会

帰国後、8月21日(水)に岩国市民文化会館で報告会を開催しました。参加者は一人ずつ、アメリカでの経験や得た成果、今後の展望などについて、市長・教育長・市議会長の前で報告しました。



事後研修

この研修で学んだことや経験したことを整理し、岩国市のみなさんに研修の様子やエベレット市と周辺地域の様子を紹介するため、展示資料(ポスター)と報告書(文集)を作成しました。

現地研修日程①

第1週目

日にち	研 修 内 容
7月26日(金)	午前：岩国錦帯橋を出発 (アメリカ時間) 午後：エベレット到着、ホストファミリーと対面
7月27日(土) ～28日(日)	ホストファミリーと過ごす
7月29日(月)	午前：英語研修、現地学生と昼食交流 午後：オリエンテーション、キャンパスツアー
7月30日(火)	午前：英語研修 午後：ワシントン州立大学エベレット校訪問、FUNKO*本店 夜　：野球観戦（エベレット・アクアソックス） *世界的おもちゃメーカー
7月31日(水)	午前：英語研修、現地学生と昼食交流 午後：エベレット港訪問 夕方：ホストファミリーとスウィムパーティー
8月1日(木)	午前：英語研修 午後：ディセプションパス州立公園
8月2日(金)	シアトル散策
8月3日(土) ～4日(日)	ホストファミリーと過ごす

エベレット市での研修日程②

第2週目

日にち	研 修 内 容
8月5日(月)	午前：英語研修、現地学生と昼食交流 午後：ボーイング社エベレット工場見学
8月6日(火)	午前：英語研修 午後：ウェスタン・ワシントン大学訪問
8月7日(水)	午前：市役所訪問、英語研修、現地学生と昼食交流 午後：カレッジ留学体験談聴講、市議会表敬訪問
8月8日(木)	午前：英語研修、現地学生と昼食交流 午後：修了式、さよならパーティ
8月9日(金)	午前：エベレットコミュニティカレッジを出発 午後：シアトルタコマ国際空港より帰国の途へ
8月10日(土)	羽田空港に到着（1泊）
8月11日(日)	岩国錦帯橋空港に到着

EVERETT



Washington, USA



エベレット市は、アメリカ最北西部ワシントン州にあり、シアトルの北方約40キロに位置しています。面積約123Km²、人口約11万人の都市で、古くから木材パルプ、製紙等を中心に発展しました。近年ではボーイング社に代表される航空産業・通信・電子工業等の先端ハイテク産業の集積する都市でもあります。

日本との時差は－16時間（夏時間）です。7～8月の気温は例年24度程度で、日本に比べて湿度が低いので大変過ごしやすいです。この時期、空は夜9時過ぎまで明るく、人々は屋外でのスポーツやレジャーを大いに楽しんでいます。



～姉妹都市提携の経緯～

エベレット市と岩国市は、1962年(昭和37年)8月1日に姉妹都市となりました。

これは1961年(昭和36年)エベレット市出身のアグニュー少佐(米海兵隊岩国基地所属)と川下中学校佐上緑教諭の仲介で両市の中学生の文通がきっかけとなったからです。

エベレット市への青少年海外派遣事業は、1990年(平成2年)に始まり、1996年(平成8年)からは毎年行われています。2022年(令和4年)は姉妹都市提携60周年を記念して、オンラインで記念式典を行いました。



受入れ機関であるエベレットコミュニティカレッジには、錦帯橋の廃材で作られた「岩国橋」があります！

